

(8) 教室で使用している学習教材

複数回答可(教室)

		全体	識字教室	日本語教室	識字・日本語教室
ア	教室・学習支援者自作の教材	81	14	33	34
イ	文集	21	5	1	15
ウ	新聞・雑誌の切り抜き	82	1	44	37
エ	スーパーなどのチラシ	72	1	39	32
オ	観光地などのガイドブック パンフレット	46	1	14	31
カ	行政の広報誌	39	1	14	24
キ	きいてまねしてはなして 「わたしたちが語る」20のエピソード	59	0	42	17
ク	話して書いて伝え合う私のこと・あなたのこと	9	0	4	5
ケ	あいう絵おしゃべり カキクケコラム	7	0	1	6
コ	もっとしゃべろ ～自分でつくる学習ノート～	3	0	1	2
サ	日本語春夏秋冬 現代生活・日本語カタログ	33	0	11	22
シ	みんなの漢字	19	0	13	6
ス	日本語指導教材「こんにちは」	34	2	16	16
セ	えんぴつポスター(作文)	27	3	2	22
ソ	文化庁5点セット	7	0	2	5
タ	日本語学習サイト つながるひろがる にほんごでの暮らし	18	0	9	9
チ	小・中学校の教科書	43	4	20	19
ツ	小・中学生用の問題集やドリル (漢字ドリルなど)	65	8	20	37
テ	みんなの日本語	127	1	80	46
ト	にほんごこれだけ!	11	0	4	7
ナ	日本語能力試験対策用教材	104	1	71	32
ニ	その他	66	9	41	16

(識字教室:26 教室 日本語教室:111 教室 識字・日本語教室:62 教室)

(「ア:教室・学習支援者自作の教材」について)

- ・学習支援者が学習者の状況に合わせて行政の資料などから自作
- ・学習支援者が外を歩いて調査してきた内容など
- ・学習者の半生をつづった作品等
- ・子どもの実態に合わせて教科日本語学習に必要な教材を作成
- ・おしゃべりテキスト「話そう!わいわい」
- ・漢字学習、地図
- ・新聞投稿エッセー、暮らしの知識などの読み物教材
- ・季節や時世の話題を取り入れたもの
- ・自作の問題プリント等
- ・絵本の切り抜きを用いて文章を作成等
- ・「はじめてのにこにこ」、「にこにこ日本語」
- ・語彙力を身につけるためのワークシートなど
- ・ひらがなおけいこ、トコトン日本語、漢検漢字学習ステップ
- ・日本学生支援機構大阪日本語教育センター作成のテキスト2種及び付随する各国語語彙集
- ・「日本語こんにちは」等
- ・大阪市白地図、日本家屋のイラスト、慣用句
- ・文章読解問題・漢字クイズ
- ・A4の紙に絵をかいて、自分のことを紹介(テーマは色々)
- ・オンラインでは全体学習として語彙や日本文化等を題材にパワーポイントで作成し、共有画面で実施
- ・詩画
- ・人権に関わる自作の文章をみんなで読み、話し合う
- ・学習支援者作成教材(手作りのプリントや「漢字の使い方」など)

(「ニ:その他」について)

- ・いっぽにほんごさんぽ
- ・日本語初級I大地 メインテキスト
- ・手記、人権映画等
- ・できる日本語、まるごと、ニューアプローチ中級、ニューアプローチ中上級、中級へ行こう、中級で学ぶ
- ・日本語読み書きのたね
- ・げんき
- ・漢字学習ステップ
- ・短期マスター、ゼットタイ合格
- ・さかい de にほんご
- ・学校の宿題プリントやドリル
- ・声に出して読みたい日本語
- ・4~1級公式問題集
- ・教室として用意した自作教材のほかに、学習支援者が学習生に応じた補助教材を準備している場合がある

- ・日本語能力試験対策テキスト類
- ・ことばのテーブル
- ・寄付等の小学校の国語教科書や先生持参の資料
- ・学習者持参教材
- ・生活者としての外国人向け私らしく暮らすための日本語ワークブック
- ・にほんご音読トレーニング まるごと
- ・いろいろ
- ・みえこさんの日本語
- ・学校の教科書、資格の参考書
- ・国際交流基金「いろいろ日本語オンラインコース」
- ・大阪府公立高等学校 特別入学者選抜等
- ・「仕事のための実践日本語」（自主制作テキスト）
- ・イメージでわかる日本語の副詞初級・中級ほか
- ・学習者に合わせたテキストや絵カード、世界地図などを利用
- ・教室作成の「新聞」、童話集、文字カードや地図帳、日本語教材「げんき」など
- ・まるごと各レベル、step 式日本語練習帳、ブラッシュアップ日本語会話
- ・日本語能力試験問題集
- ・水平社博物館、熱と光のショートレター
- ・人権学習ワークショップ資料
- ・絵本
- ・日本語あいうえお
- ・多数参考本
- ・にほんご こんにちは
- ・できる日本語、関西弁、ビジネスにほんご、絵カード

❖ 使用している教材について

- ・識字教室では「自作教材」が約 54%であったのに対して、日本語教室、識字・日本語教室では「みんなの日本語」がそれぞれ約 72%、約 74%であった。
- ・選択肢以外にも「その他」に多くの記入があり、学習者に応じて多様な教材が使用されていることがうかがえる。